

(適応行動尺度)
Vineland-Ⅱ 研修会 アドバンスド編
講義「包括的アセスメントとVineland-Ⅱ」
～ 支援への活用と質の向上に向けて ～

Vineland-Ⅱは、障害のある人の評価において、今何がどのくらいできているのかを把握するための尺度です。実際の支援は、障害の程度よりも今どこまで何ができているのかを把握することが支援のスタートとなりますので、支援において重要な尺度のひとつです。アドバンスド編では、Vineland-Ⅱの使用経験のある方を対象に、支援の実践報告を通して、活用のメリットや活用する中で困っていることを共有しながら、より充実した支援を考えます。
今回は実施方法についての講義はございませんので、ご注意ください。

日 時	令和7年6月22日(日) 10:00～16:00
会 場	仙台市男女雇用共同参画推進センター エル・ソーラ仙台 AER 28階 研修室
対 象	<u>宮城県内の発達障害児者支援に携わり、 Vineland-Ⅱの使用経験のある方</u>
定 員	50名程度(先着順)
持 ち 物	①『Vineland-Ⅱ 適応行動尺度(日本文化科学社)』マニュアル ②『Vineland-Ⅱ 適応行動尺度(日本文化科学社)』記録用紙 ※当日持参することが難しい方は、受講申込書の「貸出希望」に○をお書きください (裏面参照)。

受講料
無 料



【講師紹介】 **萩原 拓 (はぎわら たく) 氏**
北海道教育大学旭川校 特別支援教育分野 教授

<プロフィール>

米国カンザス大学教育学部特殊教育学科博士課程修了、Ph.D. (Special Education)。
米国カンザス大学教育学部特殊教育学科自閉症・アスペルガー症候群研究プロジェクト
コーディネーターおよび非常勤教員を経て、現職。専門は特別支援教育(発達障害)。臨床
発達心理士、ライフステージを通した、自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害に関する
研究、アセスメント、包括的支援、支援者養成等に携わる。日本版Vineland-Ⅱの作成に従事。

【実践報告者①】 恵泉会地域生活支援センター 発達障害者地域支援マネジャー 及川 かよ 氏
【実践報告者②】 宮城県啓佑学園 理学療法士 佐藤 江里 氏
【実践報告者③】 宮城県さわらび学園 技術主任主査 佐藤 啓直 氏

お申込みはe-mailにてお願いいたします。
詳細は裏面をご覧ください。

《お問合せ・お申込み先》
宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」
〒981-3213
仙台市泉区南中山5丁目2-1
TEL:022-376-5306
e-mail: m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp

主催:宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」
共催:宮城県発達障害者支援センター(子ども総合センター)

令和7年度 宮城県発達障害者支援センター運営事業

Vineland-Ⅱ（適応行動尺度）研修会 アドバンスド編

受講申込書

宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」行き

e-mail:m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp

申込日:令和7年 月 日

事業所（機関）名:

電話番号:

所在地:

市・町・村

メールアドレス:

	ふりがな 氏 名	所属（課・係）	職 名	マニュアル 貸出希望 （○・×）	<u>Vineland-Ⅱの使用頻度</u> 当てはまるものに ✓を入れてください。
1					☐ 年間 1～5件 ☐ 年間 5～10件 ☐ 年間 10件以上
2					☐ 年間 1～5件 ☐ 年間 5～10件 ☐ 年間 10件以上
3					☐ 年間 1～5件 ☐ 年間 5～10件 ☐ 年間 10件以上

- Vineland-Ⅱ実施上の課題など、講師（萩原 拓氏）への質問があればお書きください。
研修内の質疑応答の時間に取り上げさせていただきます。

申込み締切り:令和7年6月16日（月） 17:00

※1 この申込書でお預かりした個人情報は、セミナーの運営でのみ使用いたします。

※2 お申込み後、当センターからの受付完了メールが届いた方は受講決定となります。